

# あなたのクラウド 戦略は精査に耐え られますか？

規制当局は厳しい質問を投げかけています。  
ここでは、その答え方を紹介します。

teradata.



# クラウドは 最新のシステミックリスク となっています。

パブリッククラウド市場は、金融サービスセクターにとってますます重要になっている規制されていない少数の大手プロバイダーに集中しています。

このリスクは、単一の企業を超えて動いています。  
クは今やシステミックです。

市場シェア上位3社のクラウドプロバイダー\*

aws 38%    Azure 20%    Google 9%

\*2021年第1四半期における主要なクラウドインフラストラクチャプロバイダーの世界市場シェア。出典：Synergy Research Group



“クラウドサービスプロバイダーがより統合されるにつれて、明らかにシステムへのリスクが増加し、システムミックリスクが増加します。必要なレジリエンスのレベルを満たしていることを、より確実にする必要があります。”

アンドリュー・ベイリー、イングランド銀行総裁

#### 規制当局の注目の的

グローバルシステムの財務的なレジリエンスをほぼ解決した後、規制当局は現在、オペレーショナルレジリエンスを、対処すべき当面の最大のリスクとして強く意識しています。

金融機関は考え方を変えなければなりません。このリスクは現実のものであり、規制は厳しくなります。金融機関は、自らの判断で積極的に行動を起こさないことで、規制当局から変更を迫られる可能性が高いのです。



# 規制当局だから 行動することができ、 行動するでしょう。

業界がごく少数のクラウドプロバイダーに過度に依存している直接の結果として、規制当局は企業に対して、あるプロバイダーから別のプロバイダーに移行することの容易さ、困難さ、不可能さを文書化して確認するよう求めています。

具体的には、規制当局は次のことを避けたいと考えています。

1つの機関が1つまたは非常に限られた数のクラウドサービスプロバイダーに過度に依存すること

多数の金融機関が、特定の事業分野において同じ限られた数のサービスプロバイダーに依存すること



# リスク部門は 難しい質問 を投げかける必要 があります。

規制当局がオペレーショナルレジリエンスを重視する中、事業計画に影響を与える可能性は明らかです。特に、そうした計画が、ほんの数社の主要なテクノロジーパートナーに大きく依存している場合は、なおさらです。その一方で、リスク部門は、自ら厳しい問いを投げかける覚悟を持つ必要があります。

主な質問は以下の通りです。

- Q: 単一のプロバイダーと商業的、技術的、法的な関係に縛られることにどれほどの違和感を覚えるか？
- Q: 採用されているアプローチに挑戦するための技術的な準備はどの程度できているか？
- Q: コスト削減を主目的としたクラウド移行計画を中断させる準備はできているか？
- Q: オペレーショナルレジリエンスの責任を果たすために必要なすべての洞察と情報を取締役会に提供しているか？





# これからはハイブリッドクラウドとマルチクラウド

規制当局は、規制当局の期待を満たし、他に対して基準を設定しているこのクラウド戦略を業界最高のものと見なすことでしょう。新しいハイブリッドおよびマルチクラウドインフラストラクチャは、究極の柔軟性をもたらします。これにより、データを移動して、複数のクラウドプロバイダー間でワークロードを移動し、必要に応じてオンプレミスに戻す能力が得られます。

**今こそ変革の時です。**



# 広がる選択肢 もっと俊敏に より多くの自由

弊社のサービスをお使いになれば、必要に応じて適応することができます。複数のクラウドプロバイダーをシームレスに切り替えることは不可欠であり、オンプレミスに戻すのも簡単でなければなりません。マルチクラウドおよびハイブリッド導入オプションにより、柔軟性が向上し、単一のパブリッククラウドベンダーに縛られることがなくなります。

**未来の金融サービス企業になる**





# テラデータがお手伝いします。

テラデータは、ハイブリッドおよびマルチクラウドに対応した最新のクラウドプラットフォームを提供します。より多くのコントロール、より少ないリスク、ロックインのない、必要なパワーと柔軟性を提供します。

詳しくは、[teradata.jp](https://www.teradata.jp)をご覧ください。

17095 Via Del Campo, San Diego, CA 92127    [Teradata.jp](https://www.teradata.jp)

Teradataのロゴは商標であり、Teradataはテラデータ・コーポレーションおよび/またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。テラデータは、新しいテクノロジーやコンポーネントの登場に合わせて製品を改善し続けています。そのためテラデータは各種仕様を事前の通知なく変更できる権利を留保します。地域や市場によっては、本書に記載されている機能、仕様、動作の一部を利用できない場合があります。詳細については、テラデータの営業担当者までお問い合わせいただくか、[www.teradata.jp](https://www.teradata.jp)をご参照ください。

© 2022 Teradata Corporation    All Rights Reserved.    Produced in U.S.A.    05.22



**teradata.**